



年が明けて早いもので3月に入りました。季節の変わり目ということもあるのか、朝の気温15度。日中の気温25度。このような気温差のある日が続いています。利用者の皆さんも気候に応じた衣類の調整に戸惑いながら、衣類の調整を日々、職員と頑張っています。おかげさまで大きな体調不良を患う方はいませんでした。新型コロナウイルスを警戒しながらの日々が続いていますが、同時にインフルエンザも警戒中です。気温差やウイルスに負けないよう、健康管理には引き続き取り組んでいきたいと思ひます。今年度も残り僅かとなりました。愛の浜園は次年度に向けて大忙しです。創立49年を迎えることとなりますが、創立50周年を迎える時には穏やかにマスクを外すことが出来ているのでしょうか。皆さんもご自身の健康をお大事になさってください。(副主任：田畑)

行事予定表

- 1日(水): 体重・血圧測定
- 6日(月): 三賞表彰式
- 14日(火): 音楽の日
- 16日(木): 避難訓練
- 18日(土): 男性理髪
- 24日(金): 誕生会



★節分の日★

2月3日(金)は節分の日。愛の浜園でも利用者さん、職員の無病息災を祈願して節分の行事を開催しました。今回は豆まきをせずに鬼的的にボールを投げて鬼退治をする形で節分気分を味わってもらいました。BGMが流れると…2体の赤鬼、青鬼が登場!!会場が「キャー!!」と歓喜の声と悲鳴に包まれました…。鬼の登場後に的も2組出て来て司会の「鬼は外、福は内!!」の掛け声で一斉に鬼退治が始まり20分程すると鬼は園の外へ逃げて行きました。鬼退治が終わると皆で万歳三唱により行事を締めくくりました。久しぶりの節分行事で反省面も多く残りましたが、利用者さんに節分の気分を味わって貰い、たくさんの笑顔を見られた行事となりました。(記事：岩井)



工賃支給日 ～生活介護～



ほっこり ひとコマ。 芋ほり活動にて



3月
お誕生日
おめでとうございます



栄 徹さん



満林 アツ子さん

平田 広人さん 夢への一歩

平成30年3月1日、フレンド4の新設に伴い、鹿児島県のグループホームから転居してこられた、平田 広人さんですが、念願の一人暮らしが実現しました。一人での交通機関の利用もでき、土、日の休みの日には買い物に出掛けたり、鹿児島県の障害スポーツ大会に参加した後、本人だけで一泊鹿児島に残り、船で帰ってくる事も出来る利用者です。真面目で正義感が強いだけに自分の思うようにいかない時やコロナ感染症で自由に外出、外泊ができなくなった時等には、不満が募り、何度かホームを飛び出してしまふ事もありました。それでも、私たち職員は、本人の夢を諦めず、一人暮らしへ向けて支援計画を立て取り組んできました。「一人暮らしの体験」というテーマを掲げ、外泊の



支援をする時には、自分の計画を園長や相談員の前でプレゼンし、帰宅後には外泊中の振り返りを行い、良かった事、反省する点等を自分なりの言葉で伝え、次の外泊計画に繋げるような段階的な支援をしてきました。



住宅へ申し込みをしてから約2年、その時がきました。そして、これまでお世話になったGHフレンドからの引っ越し。本人も色々な事を考え思う事があったことでしょう。

「少しさみしいけど、ずっと叶えなかった夢ですから。」と本人は前を向いていました。一人暮らしに向けての担当者会議では、楽しい話だけではなく、厳しい現実の話もありました。「一人暮らしをするという事は自由な面と責任がついてくる。干渉される事なく、自由にできる分、自分で考えて行動する事の責任もあり、楽しい事ばかりではない事も覚えてほしい。だから、困った時には相談する事が大切。」と支援者から厳しくも温かいメッセージが伝えられました。



愛の浜園は、GHから一人暮らしへの移行は初めてです。これまでGHで培った力を活かし、自分らしいライフスタイルを作っていくように私たちは影ながら応援したいと思います。GHから地域へ。平田さんにとってこれからがスタートです。これから地域生活を満喫し、更に色々な夢を一つ一つ叶えてほしいと思ひます。今後はどんな夢を叶えてくれるのが楽しみです。そして約4年間ありがとうございました。(記事：福山)